

1-5 姉妹都市、友好都市、ゆかりのまち、交流都市

I 姉妹都市

(1) フランス共和国アバロン市（昭和 51 年 7 月 14 日提携調印）

昭和 48 年 10 月にスイスにおいて開催されたヨーロッパ禅大会に出席した貞祥寺（市内前山）住職に、佐久市長がフランスに佐久市と見合う市があったら紹介していただきたい旨依頼したところ、ヨーロッパ禅協会の会長であり、ヨーロッパで禅を布教している弟子丸氏より佐久市と自然環境などがよく似ているアバロン市が紹介されたことから交流が始まる。

II 友好都市

(1) エストニア共和国サク市（平成 19 年 5 月 1 日提携調印）

ヨーロッパのバルト海に面するバルト 3 国の 1 国であるエストニア共和国に“SAKU”という市があることから平成 11 年より交流が始まる。平成 17 年 2 月には、スペシャルオリンピックス長野大会に参加のエストニア選手団を、佐久市民がホームステイなどで受け入れた。

(2) モンゴル国ウランバートル市スフバートル区（平成 20 年 8 月 4 日提携調印）

平成 18 年「モンゴル国建国 800 年記念」に際し、日本・モンゴル友好年実行委員会からの要請を受け、佐久市の熱気球とパイロットを派遣したことが縁で交流が続けられた。

(3) 秋田県由利本荘市（昭和 63 年 7 月 11 日旧矢島町と提携調印、平成 17 年 3 月 22 日旧矢島町より承継）

昭和 53 年 5 月、市内の郷土史研究者らが、佐久の豪族根々井、大井両氏に関係する史料調査に旧矢島町を訪問したことが縁となる。

(4) 静岡県静岡市（平成元年 10 月 12 日旧清水市と提携調印、平成 15 年 4 月 1 日旧清水市より承継）

昭和 44 年、佐久市の公民館移動青年学級が旧清水市で開かれ、双方の青年学級生との交流が開始された。これを契機に、翌昭和 45 年に旧清水市から大勢の青年が佐久市を訪れ、広大な自然の中で交歓キャンプを開催、以後交流の輪は青年から児童・生徒に引き継がれている。

(5) 東京都神津島村（平成 6 年 3 月 24 日提携調印）

神津島村との交流は、神津姓の取り持つ縁により昭和 52 年から開始されている。昭和 53 年に神津島村青年団が来市、翌昭和 54 年には神津島村が「佐久鯉祭り」に参加して以来、神津島村から産業フェア、また佐久市からは、商工産業まつりに参加するなど、

双方の諸行事を通じ交流が続いている。

(6) 銀河連邦共和国

相模原市の提唱により、昭和 62 年 11 月 8 日、文部科学省宇宙科学研究所の研究及び観測施設のある 2 市 3 町（現在は 4 市 2 町）で銀河連邦共和国を建国。ユーモアとパロディにより、連邦国家を組織し、共和国相互の理解と親善を深めることにより、宇宙平和の一翼を担うとともに、人々の笑顔にあふれたユートピアの創造をめざし、首脳サミット、銀河フォーラム、子ども留学交流、物産販売等経済交流により友好を深めている。

（佐久市所在の施設名：臼田宇宙空間観測所）

① 神奈川県相模原市

- ・所在施設名 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部 相模原キャンパス

② 秋田県能代市

- ・所在施設名 能代ロケット実験場

③ 岩手県大船渡市（平成 13 年 11 月 15 日旧三陸町より承継）

- ・所在施設名 三陸大気球観測所（平成 19 年閉所大樹航空宇宙実験場へ移室）

④ 鹿児島県肝付町（平成 17 年 7 月 1 日旧内之浦町より承継）

- ・所在施設名 内之浦宇宙空間観測所

⑤ 北海道大樹町（平成 22 年 4 月 1 日加盟）

- ・所在施設名 大樹航空宇宙実験場

III ゆかりのまち

(1) 愛知県岡崎市（昭和 58 年 7 月 1 日「ゆかりのまち」提携調印）

江戸幕府末期の龍岡藩藩主で、岡崎市が生誕の地である松平乗謨公に係る歴史的由緒により、昭和 57 年 4 月旧臼田町関係者が岡崎市の「家康祭り」に招待されたことに始まる。双方の各種イベントに参加したり、りんごの樹オーナー等交流を行なっている。

(2) 北海道函館市（平成 10 年 10 月 16 日「五稜郭ゆかりのまち」提携調印）

龍岡城五稜郭とともに日本に 2 つしかない星型をした貴重な洋式築城跡を有している。昭和 50 年代から龍岡城五稜郭保存会等の民間レベルでの交流がはじまり、平成 9 年 7 月に函館市で第 1 回世界星型城郭サミットが開催された。この席上で旧臼田町から函館市に呼びかけ、新しい交流に発展させることを確認し、翌年協定を結んだ。

(3) 滋賀県甲賀市（平成 2 年 12 月 6 日旧甲南町と「友好親善都市盟約」提携調印、平成 16 年 10 月 1 日旧甲南町より承継）

旧甲南町は甲賀忍者の里として知られている。望月の武将望月三郎兼家が旧甲南町に移り住み、その子孫が忍者になったといわれており、それが縁で交流が始まる。

IV 交流都市

(1) 神奈川県川崎市宮前区（平成12年3月27日提携調印）

両市区の子どもたちによる交流が縁でお互いの行事に参加し、交流を深めている。

(2) 佐賀県佐賀市（平成10年5月20日旧川副町と「博愛の縁」合意、平成19年10月1日旧川副町より継承）

五稜郭を築城した龍岡藩藩主松平乗謨公と共に「博愛社」を創設した佐野常民の出身が川副町であったことから交流がはじまる。

(3) 埼玉県和光市

平成5年からスポーツ交流が始まり、平成7年に災害時における相互応援に関する協定書を締結している。和光市で行なわれる農業祭の参加など交流を深めている。